

優秀賞

なぜできるのママ

大分県 山香小学校 一年
西 梨花

わたしは、ママがすきです。わたしのママは、わたしやほかの人がこまっているときに、ぜったいにたすけてくれる、かっこいいヒーローみたいな人だとおもいます。

わたしはさがしものをしていました。いくらさがしてもみつかりません。でも、ママがみつけるとすぐにみつかり、なぜなのだろうとおもいました。たいちょうがわるいときは、してほしいことをいわなくてもきづいてしてくれて、とてもかんしゃしています。

そんなママは、わたしいがいの人にもとてもしんせつです。あかちゃんをだいているおかあさんが、おもたそうに、にもつをもっていました。わたしはきづいていたのに、こえをかけてあげられませんでした。でも、ママはじぶんからこえをかけてあげていて、かっこよかったです。ほかにもスーパーでさがしものをしている人に、どこにありますよ、とこえをかけてあげていました。

それをみてわたしは、まねをしようとおもいました。するとべつの日、男の子がおかしがどこにあるのかわからずこまっていた。わたしは、ゆうきを出しておしえてあげることができました。とてもうれしかったです。人だすけをするじしんがつかまりました。

べつの日、きんじょの人がみぞにおちていて、わたしときょうだいできょうりょくして、たすけだしてあげました。その人は、

「ありがとうございます。たすかりました。」

とってくれました。わたしはだいじょうぶなのか、とこえをかけました。そうしたら、

「だいじょうぶよ。」

とへんじをされたので、わたしたちはいえにかえり、ママにあったことをはなしました。

するとママは、

「ほんとうにそのだいじょうぶは、だいじょうぶなのかな？」

といいました。わたしはどういういみなのかかわからず、ママにききました。すると、

「大人は子どもにしんぱいをかけたくなくて、だいじょうぶではなくても、だいじょうぶとへんじをすることがあるからね。」

といいました。それをきいて、そういえば足をひきずっていたし、きつそうだったとおもい、ママにつたえました。それをきいて、ママはようすをみにいきました。その人はきつくてうごけないじょうたいで、いえの中にいました。だいじょうぶじゃないときづいたママは、すぐくたよりになるとおもいました。

ママのまわりには、いい人ややさしい人があつまってきます。そして、こころがあたたかくなって、うれしくてしあわせになります。だからこれからも、こまっている人をみつけたら、どんどんたすけていきたいです。

そしてわたしも、しんせつがあたりまえのように、いっぱいできる人になりたいとおもいます。